

人の構造及び機能 I

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人体の構造と機能を中心に基礎的な内容について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	森川 哲郎	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	解剖生理学を学ぶ目的。細胞一般
2	細胞質
3	染色体、細胞周期、減数分裂について
4	上皮組織、支持組織について
5	骨組織、軟骨組織について
6	筋組織と構造について
7	骨格筋組織の種類
8	神経細胞の構造と神経膠(グリア)について
9	神経細胞における活動電位及び興奮の伝導について
10	背椎骨、胸郭について
11	上肢の骨について
12	下肢の骨について
13	骨格筋について
14	上肢の筋について
15	下肢の筋について
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
解剖生理学	高野 廣子	南山堂
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

人の構造及び機能Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人体の構造と機能を中心に基礎的な内容について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	森川 哲郎	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	循環器学について
2	心臓の刺激伝導系と心臓の収縮について
3	心電図、心周期、心は区出について
4	血管系の構造
5	血圧の生理
6	末梢循環について
7	血液(赤血球)について
8	血液(白血球)について
9	血液(血小板、血液型)について
10	免疫について
11	消化器系について
12	口腔、咽喉、食道について
13	胃、小腸の構造と機能(消化機能)について
14	膵臓について
15	肝臓と栄養素の消化、吸収、代謝について
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
解剖生理学	高野 廣子	南山堂
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

人の構造及び機能Ⅲ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人体の構造と機能、特に神経系および感覚系、について学び、ヒトの「生きる仕組み」の基本を理解する
また、特に呼吸器系、泌尿器系、内分泌系、生殖器系、体液の恒常化、のそれぞれについて学び
ヒトの「生きる仕組み」の基本を理解する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	森川 哲郎	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	人体の構造と機能のあらまし、第16章 体液の恒常化 体液の組成
2	第13章 神経系 1 神経系の構造と機能 ニューロンにおける興奮とその伝導
3	シナプスでの興奮の伝達
4	2 脊髄
5	3 脳幹
6	4 小脳、5 間脳
7	6 大脳、7 脳室および脳脊髄液
8	8 末梢神経 脳脊髄神経
9	自律神経
10	第15章 感覚系 1 感覚一般、2 皮膚感覚
11	3 視覚器 眼球の構造、視覚の調節
12	網膜、視覚の伝導路
13	4 平衡聴覚器
14	5 嗅覚器、6 味覚器
15	神経系と感覚系のまとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
解剖生理学	高野 廣子	南山堂
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

人の構造及び機能Ⅳ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人体の構造と機能、特に神経系および感覚系、について学び、ヒトの「生きる仕組み」の基本を理解する
また、特に呼吸器系、泌尿器系、内分泌系、生殖器系、体液の恒常化、のそれぞれについて学び
ヒトの「生きる仕組み」の基本を理解する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	森川 哲郎	演習	下記参照	終講時試験(筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	第9章 呼吸器系 1 内呼吸と外呼吸、 2 呼吸器と呼吸運動
2	3 呼吸気量(肺機能検査)、 4 ガス交換とガス運搬
3	5 呼吸運動の調節、 6 発声
4	第10章 泌尿器系 1 腎臓の構造と尿生成のメカニズム
5	2 クリアランス(腎機能検査)
6	3 排泄路と排尿調節、 4 尿の成分と性状
7	第12章 内分泌系 1 ホルモンの化学構造と作用機序、 2 視床下部・下垂体系、 3 松果体
8	4 甲状腺、 5 上皮小体
9	6 膵島、 7 副腎
10	第11章 生殖器系 1 男性生殖器
11	2 女性生殖器
12	第10章 体液の恒常化 1 体液の水・電解質のバランス
13	2 体内の酸・塩基平衡
14	3 体温調節
15	呼吸器系、泌尿器系、内分泌系、生殖器系、体液の恒常化のまとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
解剖生理学	高野 廣子	南山堂
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

基礎医学実習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人体の構造及び機能について、経験的に理解を深めることを目標とする。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	石井 久淑	実習	下記参照	実習毎によるレポート評価

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	心臓のポンプ作用
3	
4	呼吸器と換気機能測定
5	
6	腎機能と体液調節
7	
8	心臓の自動能検証
9	
10	札幌医大標本館見学
11	
12	各種細胞の顕微鏡観察
13	
14	バーチャル解剖解剖
15	

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
解剖生理学	高野 廣子	南山堂
配布資料(プリント)		

備考

評価は実習毎に提出するレポートの評価によって決定する。

基礎医学演習 I

(取得単位数 : 1 単位)

教育目標 人体の解剖生理の理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	30	林 泰弘、岡田 一 範、中鉢 雅大	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	人の機能と構造の演習解説
2	人の機能と構造の演習解説
3	人の機能と構造の演習解説
4	人の機能と構造の演習解説
5	人の機能と構造の演習解説
6	人の機能と構造の演習解説
7	人の機能と構造の演習解説
8	人の機能と構造の演習解説
9	人の機能と構造の演習解説
10	人の機能と構造の演習解説
11	病理学の演習解説
12	病理学の演習解説
13	病理学の演習解説
14	病理学の演習解説
15	病理学の演習解説
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

基礎医学演習Ⅱ

(取得単位数： 1 単位)

教育目標 人体の解剖生理の理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	30	木村主幸/大石悦子/福島吉郎	演習	下記参照	終講時試験(筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	医学概論、公衆衛生の演習解説
2	医学概論、公衆衛生の演習解説
3	医学概論、公衆衛生の演習解説
4	医学概論、公衆衛生の演習解説
5	医学概論、公衆衛生の演習解説
6	医学概論、公衆衛生の演習解説
7	医学概論、公衆衛生の演習解説
8	医学概論、公衆衛生の演習解説
9	医学概論、公衆衛生の演習解説
10	臨床生化学の演習解説
11	臨床生化学の演習解説
12	臨床生化学の演習解説
13	臨床生化学の演習解説
14	臨床生化学の演習解説
15	臨床生化学の演習解説
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

臨床生理学演習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 疾病と生理機能の関連及び検査法などについて教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	林 泰弘、岡 田 一範、中 鉢 雅大	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	呼吸機能検査
3	ガス代謝
4	血液ガス
5	酸塩基平衡
6	心電図
7	心音図
8	脳波
9	筋電図
10	心カテーテル
11	
12	心エコー
13	
14	その他
15	まとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
やさしい生理学 改定第8版	彼末一之/能勢博	南江堂

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

医学概論

(取得単位数： 1単位)

教育目標 医学の発達、医療技術の発達、医療従事者の倫理などについて教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	佐々木 孝、 森本 誠二、 木村 文枝	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	医学概論(序論)
2	医学、医療の歴史について
3	医療技術の進歩について
4	臨床工学技士と医療事故について
5	臨床工学技士と法律について
6	生命倫理とインフォームドコンセントについて
7	尊厳死、安楽死について
8	演習問題(国家試験問題から抜粋)
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学技士標準テキスト 第3版増補	小野 哲章、堀川 宗之 渡辺 敏、峰島 三千男	金原出版
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

※ この授業は実務教育科目である。
(臨床工学技士として医学の歴史と臨床工学技士の変遷を教授する)

臨床生化学

(取得単位数： 1単位)

教育目標 生体における代謝の基礎及びその疾病検査との関連について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	大石 悦子	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	
3	糖質の代謝
4	
5	蛋白質の代謝
6	
7	脂肪の代謝
8	酵素
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
生化学ノート	森 誠	講談社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

臨床生化学演習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 生体における代謝の基礎及びその疾病検査との関連について教授し、演習を行う。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	大石 悦子	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ホルモン
2	
3	生体色素
4	
5	その他の物質代謝
6	
7	肝胆道系の機能検査
8	
9	腎・泌尿器系の機能検査
10	
11	内分泌系の機能検査
12	
13	消化器系の機能検査
14	
15	その他の機能検査
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
生化学ノート	森 誠	講談社
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

臨床免疫

(取得単位数： 1単位)

教育目標 免疫血清学及び各種免疫の概要、輸血検査などについて教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	木村主幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	免疫反応に関するサイトカインである微量細胞表面蛋白:CD表示抗原
2	免疫を担う細胞群概論:リンパ球(T細胞、B細胞)、マクロファージ、樹状細胞、その他骨髄球
3	T細胞(リンパ球)の種類 I : ヘルパーT(Th1, Th2)、キラーT、K、NK、LAK細胞
4	抗原提示細胞3種とHLAクラス I、クラス II 抗原、T細胞レセプターの構造と機能
5	Th1細胞によるキラーT細胞の活性化に関するサイトカイン、Th2によるB細胞の活性化反応、
6	$\alpha\beta$ Tと $\gamma\delta$ T細胞、胸腺外分化T細胞、B1とB2細胞
7	液性免疫を担うB細胞の分化、活性化反応と各種サイトカインの作用、免疫抗体の種類と構造
8	ワクチンによる抗体産生反応、ブースター免疫と産生抗体種の変換、粘液関連リンパ組織
9	オプソニン、移行抗体、IgGサブクラス、単クローン性抗体、抗体のクラススイッチ、ハプテン
10	補体系:3種の活性化経路、免疫学的記憶、スーパー抗原
11	免疫応答の制御、免疫トレランス(T細胞アネルギー、アポトーシス、活性化阻止レセプター)
12	アレルギー I : I 型、II 型、III 型、IV 型、V 型アレルギーとその代表的疾患
13	自己免疫疾患、免疫不全症
14	演習問題実施とその解説 I
15	演習問題実施とその解説 II
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
病気がみえるVol.6免疫・膠原病・感染症		メディックメディア

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

臨床薬理学

(取得単位数： 1単位)

教育目標 臨床で使用される薬剤の作用機序、適応などを中心に教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	大石 悦子	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	総論 薬事法
2	総論 受容体(薬はなぜ効くのか)
3	総論 薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)
4	総論 有害作用(副作用)
5	交感神経(作用薬・遮断薬)
6	副交感神経(作用薬・遮断薬)
7	心臓・血管系全般
8	血液全般
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
新訂版 クイックマスター薬理学 第2版		サイオ出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

公衆衛生学

(取得単位数： 1 単位)

教育目標 人々の健康水準を向上させるために組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学と技術について学ぶ。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	15	園田智子	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	公衆衛生学の目的と公衆衛生活動の意義
2	健康と疾病
3	わが国の公衆衛生活動の現状――A 衛生統計
4	わが国の公衆衛生活動の現状――B 感染症対策
5	環境衛生・学校保健
6	環境保全
7	産業保健
8	医療従事者としての課題・社会保障・社会福祉と公衆衛生の関係
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
わかりやすい公衆衛生学		ヌーベルヒロカワ

備考

試験は筆記試験によるABCDEFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

チーム医療概論

(取得単位数： 1単位)

教育目標 患者様に接するにあたって要求される基本的態度、考え方などを教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	五戸 祐子	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	医療とは
2	看護の概念
3	バイタルサイン
4	救急蘇生
5	心電図波形
6	接遇
7	協同(グループワーク)(1)
8	協同(グループワーク)(2)
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
完全版 ビジュアル臨床看護技術ガイド	坂本 すが	照林社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

病理学演習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 主な疾病の病理学像及び検査を教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	木村 主幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	病理学とは 病理学的検索方法－固定、包埋、染色 顕微鏡的方法、免疫学的方法、細胞診、組織診
2	細胞・組織とその障害 I
3	細胞・組織とその障害 II 修復と再生 幹細胞と再生への方法
4	循環障害：血栓と塞栓、門脈圧亢進症、うっ血、充血、出血、動脈硬化症、閉塞性動脈硬化症
5	高血圧症：分類、心血管系への影響、血管病変 腎の変化について
6	1.脂質代謝異常：リポ蛋白の種類・組織・機能と異常 高LDL、低HDLコレステロール血症、動脈硬化など
7	2.糖代謝異常：1型・2型糖尿病、インスリン依存・抵抗性、病理学的変化について
8	3.蛋白代謝異常：アミロイドーシス 低アルブミン血症、4.核酸代謝異常－痛風、生活習慣病 老年病、新生児疾患
9	腫瘍学 I：腫瘍の分類・命名法 良性・悪性腫瘍の比較・特徴 肉眼的・組織学的形態 腫瘍発生と発育など
10	腫瘍学 II：ウイルス・化学物質による発癌 転移－血行性、リンパ行性転移、播種性転移、発癌機序 腫瘍の疫学
11	各論 I：呼吸器系疾患、循環不全に基づく肺疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD) 気管支喘息、肺結核症など
12	各論：腎疾患 I 腎機能障害に基づく諸変化、腎機能障害－eGFRとCKDの概念 アルブミン尿、電解質異常発生機序など
13	各論：腎疾患 II 腎実質性障害：糸球体病変、溶連菌感染後糸球体腎炎など 腎血管性障害：悪性腎硬化症、良性腎硬化症
14	演習問題実施とその解説
15	演習問題実施とその解説
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
カラーで学べる病理学	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ

備考

試験は筆記試験による ABCDF の5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

応用数学演習 I

(取得単位数： 1単位)

教育目標 電気工学、電子工学、情報処理工学および機械工学、システム工学をはじめとする専門基礎科目を理解する上で必要な数学理論とその応用について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	大室 英幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	レディネステストの実施
3	四則演算
4	一元一次方程式、式の計算
5	二元一次方程式
6	一次関数
7	展開公式・因数分解
8	平方根その1
9	平方根その2、二次方程式その1
10	二次方程式その2
11	繁分数の計算
12	中学校までの内容で解ける国家試験の研究その1
13	中学校までの内容で解ける国家試験の研究その2
14	たすき掛けによる因数分解、複素数その1
15	複素数その2
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
大学新入生のための数学入門 増補版	石村 園子	共立出版
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDEFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。
--

応用数学演習Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 電気工学、電子工学、情報処理工学および機械工学、システム工学をはじめとする専門基礎科目を理解する上で必要な数学理論とその応用について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	大室 英幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	三角比その1
2	三角比その2
3	三角比その3
4	三角比：国家試験研究
5	三角関数その1
6	三角関数その2
7	指数、指数関数その1
8	指数、指数関数その2
9	指数、指数関数その3
10	指数：国家試験研究
11	対数その1
12	対数その2
13	対数：国家試験研究
14	まとめ：そのほかの式の計算その1
15	まとめ：そのほかの式の計算その2
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
工学新入生のための数学入門 増補版	石村 園子	共立出版
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

応用数学演習Ⅲ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 電気工学、電子工学、情報処理工学および機械工学、システム工学をはじめとする専門基礎科目を理解する上で必要な数学理論とその応用について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	大室 英幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	複素平面その1
2	複素平面その2
3	複素平面:国家試験研究
4	ベクトル・スカラーの基本その1
5	ベクトル・スカラーの基本その2および国家試験研究
6	微分の基礎その1
7	微分の基礎その2
8	微分の基礎その3
9	微分の基礎その4
10	積分の基礎その1
11	積分の基礎その2
12	積分の基礎その3
13	微分・積分の国家試験研究
14	応用数学演習まとめその1
15	応用数学演習まとめその2
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
工学新入生のための数学入門 増補版	石村 園子	共立出版
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDEFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。
--

電気工学演習 I

(取得単位数 : 1単位)

教育目標 医療機器の原理となる電気工学についての知識 (直流理論) を教授する

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	合田 友輝	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	電気について
2	電流、電圧、起電力
3	オームの法則
4	直列回路
5	並列回路
6	直並列回路
7	電圧降下
8	キルヒホッフの法則
9	網目電流法
10	スイッチのある回路
11	ブリッジ回路
12	電池の接続
13	電圧計と倍率器
14	電流計と分流器
15	まとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電気工学(1)第2	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電気基礎1・2 新訂版 演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電気工学演習Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 医療機器の原理となる電気工学についての知識（直流理論）を教授する

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	合田 友輝	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	電気角と各周波数
2	正弦波交流について
3	平均値、実効値について
4	複素数について
5	RCLの交流に対する動作
6	インピーダンスとリアクタンス
7	交流回路のベクトル表示
8	周波数と周期の関係
9	RLCの直列接続
10	RLCの並列接続
11	RLC共振について、尖鋭度
12	アドミタンスとLC並列共振
13	電力、電力量と発熱量
14	電線の抵抗
15	ブリッジ回路
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電気工学(1)第2	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電気基礎1・2 新訂版 演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電気磁気学演習 I

(取得単位数 : 1単位)

教育目標 医療機器の原理となる電気工学についての知識 (電磁気学) を教授する

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	合田 友輝	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス 2.1.1 磁石の性質と磁気誘導
2	2.1.2 磁極の強さと磁気力
3	2.1.3 磁界と磁界の強さ
4	2.1.4 磁束・磁束密度
5	2.2.1 電流の作る磁界
6	2.2.2 磁気回路 2.3 磁化曲線
7	2.4.1 磁界中の電流に働く力
8	2.4.2 電流相互間に働く力
9	ここまでの復習
10	2.5.1 電磁誘導作用
11	2.5.2 誘導起電力の大きさと方向
12	2.5.3 相互誘導作用と相互インダクタンス
13	2.5.4 自己誘導作用と自己インダクタンス
14	2.5.5 磁界に蓄えられるエネルギー
15	ここまでの復習
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電気工学(1)第2	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電気基礎1・2 新訂版 演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電気磁気学演習Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 医療機器の原理となる電気工学についての知識（電磁気学）を教授する

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	大井 諒	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス 3.1.1 静電気の性質と静電誘導
2	3.1.2 誘電体
3	3.2.1 静電力
4	3.2.2 電界の強さと電位
5	3.2.3 電束・電束密度
6	ここまでの復習
7	3.3.1 静電誘導とコンデンサ
8	3.3.2 コンデンサの接続
9	ここまでの復習
10	3.4.1 コンデンサに蓄えられるエネルギー
11	3.4.2 静電吸引力
12	ここまでの復習
13	3.5 放電現象
14	その他
15	まとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電気工学(1)第2	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電気基礎1・2 新訂版 演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電気工学演習Ⅲ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 電気工学に関する演習を行い、その理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	大井 諒	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	抵抗と抵抗率
2	直流回路とキルヒホッフの法則
3	コンデンサとコイルの直流的性質
4	電圧計と電流計(分流器と倍率器)
5	電力計算と熱量計算
6	トランス
7	磁気作用と電磁力
8	ブリッジ回路
9	交流回路と正弦波交流の式
10	RLCのインピーダンス計算と共振回路
11	半導体とダイオード回路
12	ステップ応答と過渡現象
13	デシベル計算
14	フィルタ回路
15	OPアンプについて
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学技士のための電気工学	三田村好矩、西村 生哉	コロナ社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電気工学実習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 電気工学の知識を実習によりさらに深めることを目標とする。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	藤吉 雅幸	実習	下記参照	実習毎によるレポート評価

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス(レポートの書き方)
2	ブレッドボード使用方法
3	
4	クランプメーターの使用方法
5	
6	オシロスコープ、FGの使用方法
7	
8	コイルの実験
9	
10	コンデンサの実験
11	
12	直列共振
13	
14	並列共振
15	

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電気工学〈1〉第2冊	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
臨床工学講座 医用電気工学〈2〉	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版

備考

評価は実習毎に提出するレポートの評価によって決定する。

電子工学演習 I

(取得単位数： 1単位)

教育目標 医療機器を構成する上で必要となる電子素子・回路の基礎知識を教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス、半導体について
2	半導体の種類について
3	ダイオードについて
4	ダイオードの用途
5	微分・積分回路
6	波形整形回路
7	電源回路の構成
8	電源回路
9	トランジスタの基礎
10	バイポーラトランジスタについて
11	ユニポーラトランジスタについて
12	トランジスタ国家試験問題演習
13	増幅度と接地
14	増幅度と利得
15	まとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電子工学 第2版	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電子回路演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電子工学演習Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 医療機器を構成する上で必要となる電子素子・回路の基礎知識を教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	オペアンプの基礎
2	反転増幅回路について
3	非反転増幅回路について
4	反転・非反転増幅回路について国家試験問題演習
5	電圧フォロワ回路について
6	インピーダンスマッチングについて
7	微分回路について
8	積分回路について
9	微分積分回路について国家試験問題演習
10	加算回路について
11	減算回路について
12	加算減算回路について国家試験問題演習
13	増幅度と利得について
14	CMRRについて
15	CMRRについて国家試験問題演習、まとめ
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学講座 医用電子工学 第2冊	戸畑 裕志、中島 章夫、福長 一義	医歯薬出版
電子回路演習ノート	実教出版編修部	実教出版

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電子工学演習Ⅲ

(取得単位数： 1 単位)

教育目標 国家試験対策として、電子工学、電気工学の理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	半導体の種類について
2	ダイオードについて
3	バイポーラトランジスタについて
4	ユニポーラトランジスタについて
5	微分・積分回路
6	電気工学の基礎 (電位、電圧、電流、抵抗)
7	オペアンプの基礎
8	反転増幅回路、非反転増幅回路について
9	加算回路、減算回路について
10	電圧フォロワ回路とインピーダンス変換について
11	増幅度と利得について
12	CMRRについて
13	半導体センサ素子、電池の種類について
14	変調について
15	FFTと占有周波数帯幅について
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

電子工学実習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 臨床工学技士に必要な電子工学の基礎を理解するために実習を行う。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	藤吉 雅幸	実習	下記参照	実習毎によるレポート評価

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2,3	受動フィルタ
4,5	過渡現象
6,7	電源回路
8,9	論理演算回路
10,11	反転増幅回路、非反転増幅回路
12,13	差動増幅回路とCMRR
14,15	アクティブフィルタ

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

評価は実習毎に提出するレポートの評価によって決定する。

機械工学演習 I

(取得単位数： 1単位)

教育目標 臨床工学に必要な剛体力学、流体力学、振動・波動力学および熱力学の基礎について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	SI単位と力学の単位、力の要素と力の合成分解、力のモーメント
2	重心、速さと加速度、相対速度、ニュートンの法則
3	慣性質量と重力質量、運動方程式の解
4	放物運動、円運動、角速度
5	エネルギーと仕事、位置エネルギー、運動エネルギー
6	力学的エネルギー保存則、仕事率、弾性エネルギー
7	応力とひずみ、縦、横ひずみ、ポアソン比、応力-ひずみ線図
8	比例限度、弾性限度、極限強さ、降伏点、破断点
9	許容応力と安全率、ねじりとねじりモーメント、ニュートンの粘性法則
10	ずり速度、ずり応力、粘弾性体、マックスウェルモデル、フォークトモデル
11	等速円運動、単振動をあらわす式、周期、復元力、合成ばね定数
12	減衰定数、ばねの力と減衰力
13	弾性波、縦・横波、波動の式、波長、波の伝搬速度
14	波形を表す式、波動における粒子速度、波の重ね合わせの原理
15	反射、屈折、屈折率、音の伝搬速度、定常波、弦の振動
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学技士のための機械工学	西村 生哉	コロナ社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

機械工学演習Ⅱ

(取得単位数： 1単位)

教育目標 臨床工学に必要な剛体力学、流体力学、振動・波動力学および熱力学の基礎について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	流線、流跡、定常流と非定常流、理想流体、
2	連続の式と質量保存則、質量流量と体積流量
3	ベルヌーイの定理、トリチェリーの定理、ピトー管、ベンチュリー管、
4	粘性流体、ニュートンの粘性法則、流体の速度分布、ずり応力
5	静止している流体、圧力の色々な単位、パスカルの原理
6	重力場での流体の圧力、重力と血圧、血圧の測定、アルキメデスの原理
7	呼吸と圧力、表面張力、手管現象
8	接触角、コリンの法則、ラプラスの式
9	層流と乱流、レイノルズの式、レイノルズ数、ハーゲンポアズイユの法則
10	定常流と拍動流、血液ポンプの種類、定流量ポンプと遠心ポンプの特
11	人工呼吸器、血管内における血液の流れ、流れの中の物体が受ける力
12	熱と温度と熱の単位、相変化、潜熱、熱容量、比熱
13	熱の移動、熱伝導、対流、放射、ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式
14	アボガドロの法則、ドルトンの法則、熱力学第1法則、第2法則、エントロピー
15	理想気体の等圧、等積変化と断熱変化、内部エネルギーと熱機関
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
臨床工学技士のための機械工学	西村 生哉	コロナ社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

機械工学演習Ⅲ

(取得単位数： 1 単位)

教育目標 国家試験対策として、機械工学の理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	SI単位と力学の単位、力の要素と力の合成分解、
2	力のモーメント、重心
3	速さと加速度、相対速度、ニュートンの法則
4	放物運動、円運動、角速度
5	エネルギーと仕事、仕事率、位置エネルギー、運動エネルギー力学的エネルギー保存則、
6	許容応力と安全率、熱伝導、対流、放射、
7	弾性エネルギー応力とひずみ、ポアソン比、応力-ひずみ線図
8	マックスウェルモデル、フォークトモデル
9	ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式
10	ベルヌーイの定理、連続の式
11	レイノルズの式、層流と乱流
12	ハーゲンポアズイユの法則
13	脈波伝搬速度(PWV)について
14	水の比熱と温度上昇
15	ドップラー現象
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDEFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

放射線工学概論

(取得単位数： 1単位)

教育目標 臨床工学に必要な放射線工学の基礎について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	1	15	坂下 守	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	放射線の人体への影響、造血組織への影響、生殖腺への影響
2	放射線の人体への影響(2)、放射線影響の分類、放射線症
3	放射線安全1、確定的影響と確立的影響、生物学的効果比
4	静磁界印加による磁化の発生、磁気共鳴と緩和
5	MRIにおける画像再構成法、傾斜磁場、位置情報と位相エンコード
6	MRIにおける画像再構成法、位置情報と周波数エンコード
7	CE国家試験におけるMRI関連の問題解説
8	CE、MEの試験問題(放射線、CT、PET、SPECTなど)の解説
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

情報処理工学 I

(取得単位数： 2単位)

教育目標 医療機器の原理となる情報処理論論についての知識を教授する

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	藤吉 雅幸	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	なぜ情報処理を学ぶのか？
2	コンピュータの歴史
3	5大装置の入出力装置
4	補助記憶装置について
5	主記憶装置について
6	CPUについて
7	ソフトウェアとOSについて
8	プログラミング言語
9	情報の表現
10	進数について
11	進数変換、文字コード
12	A/D変換とは、標準化について
13	量子化および符号化について
14	論理演算
15	ブール代数
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
医療系スタッフのための情報システム入門	嶋津秀昭、田中薫、渡辺篤志	学研メディカル秀潤社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

情報処理工学Ⅱ

(取得単位数： 2単位)

教育目標 臨床工学に必要な情報処理工学の基礎について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
2	2	30	藤吉雅幸	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	データ伝送について
2	通信方式について
3	変調について
4	LAN、イーサネットについて
5	モデムと回線種類について
6	シリアルとパラレルについて
7	インターネットプロトコルについて
8	エラーチェックについて
9	画像伝送について
10	文字コードについて
11	ファイル種別について
12	インターネットについて
13	OSIについて
14	データ伝送について
15	通信方式について
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
医療系スタッフのための情報システム入門	嶋津秀昭、田中薫、渡辺篤志	学研メディカル秀潤社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

システム情報処理演習

(取得単位数： 1 単位)

教育目標 国家試験対策として、システム工学、情報処理工学の理解を深める。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
3	1	30	藤吉 雅幸	演習	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	ハードウェア (五大装置)
2	ソフトウェア (OS、プログラミング言語)
3	フローチャート
4	情報の表現、進数計算と進数変換
5	論理演算、ブール代数
6	A/D変換
7	画像伝送
8	セキュリティ
9	インターフェース (シリアルとパラレル)
10	ファイル種別
11	アナログ変調、デジタル変調、パルス変調
12	伝達関数とブロック線図
13	ネットワーク
14	プロトコル
15	複素数表現
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

コンピュータ演習

(取得単位数： 2単位)

教育目標 臨床業務に必要なIT知識について学ぶ。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	60	須藤 香	演習	下記参照	終講時試験（実技試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	オリエンテーション(実習室の利用方法、注意事項など)、キートレーニング
2	キートレーニング
3	Wordの基礎知識(画面構成と基本操作)
4	文書の作成と印刷
5	文書の作成と印刷
6	表現力をアップする機能
7	表の挿入
8	表の挿入
9	演習問題
10	演習問題
11	演習問題
12	Excelの基礎知識(画面構成と基本操作)
13	表の作成
14	表の作成
15	グラフの作成
16	グラフの作成
17	データベースの利用
18	演習問題
19	演習問題
20	演習問題
21	PowerPointの基礎知識(画面構成と基本操作)
22	プレゼンテーションの作成
23	プレゼンテーションの実行
24	演習問題
25	演習問題
26	演習問題
27	Word・Excel・PowerPointの連携
28	演習問題
29	演習問題
30	演習問題
終講時試験	

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
MicrosoftOfficeWord2019 & Excel2019 & Powerpoint2019		富士通エフ・オー・エム

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

生物学

(取得単位数： 2単位)

教育目標 分子生物学的な観点から生物の基本原則を教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	安積 順一	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	科目オリエンテーション:教科目的・概要説明
2	細胞内小器官構造や機能
3	卵子・精子形成過程
4	動物の卵割、胚の着床、胚形成
5	メンデルの法則
6	DNAとRNAの機能と構造
7	染色体の基本構造
8	染色体の行動
9	ヒト核型の記載法
10	染色体異常の起因
11	染色体異常症候群
12	ヒトのメンデル遺伝
13	常染色体遺伝病
14	X連鎖優性遺伝病
15	多因子遺伝病
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
遺伝医学への招待 改定第5版 プリント	新川詔夫/太田亨	南江堂

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

化学

(取得単位数： 2単位)

教育目標 臨床工学技士として必要な化学を身につける。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	大石 悦子	講義	下記参照	終講時試験(筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	純物質と混合物について
2	原子の質量と電荷量、同位体について
3	原子量とアボガドロ定数
4	周期表とその意味
5	電子軌道について
6	電子配置について希ガス
7	イオンについて
8	分子について
9	物質量(モル)について
10	質量パーセント濃度とモル濃度について
11	共有結合と価標について
12	電気陰性度と結晶について
13	物質の三態について、圧力について、ボイルシャルルの法則
14	浸透圧、等量濃度について
15	酸・塩基の強さと電離平衡
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
新課程 視覚でとらえる フォトサイエンス 化学図録	新川詔夫/太田亨	南江堂
配布資料 (プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

物理学

(取得単位数：2単位)

教育目標 諸力学を中心に、機械工学をはじめとする専門基礎科目、専門科目の基盤となる物理学を系統的に教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	大室 英幸	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	物理を理解するための道具とルール
2	速度が変わらない運動と途中で速度が変わる運動
3	物体の落下
4	力の表し方と力の式の使い方
5	身のまわりにある力とその名前
6	身のまわりの圧力とその影響
7	物を回転させる力とつり合いの状態
8	エネルギーとその保存法則について
9	運動量と相対速度、慣性力について
10	熱の基本的な性質
11	気体について
12	波の表し方と2種類の波
13	波ならではの現象
14	音の性質と音程の変化
15	光の屈折とレンズの利用
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
まるわかり基礎物理	八女リハビリ病院 時政孝行 監修 共立女子中学高等学校 柴子 研 著	南江堂
配布資料（プリント）		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

人間関係論

(取得単位数： 1単位)

教育目標 人間関係の諸問題を理解し円滑な人間関係を築く方法を探る。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	佐々木 明美	講義	下記参照	終講時試験 (筆記試験)

授業予定表

回数	講義内容
1	対人援助職とは何か。
2	対人認知を否める要因について
3	偏見・差別、パーソナリティ理論
4	感情転移と対人不安・対人恐怖について
5	接近性、行為の返報性
6	友人関係の重要性、青年期の友人、孤独の2面性について
7	対人コミュニケーション(バーバルとノンバーバル、アサーション)
8	TA理論TEGの理解、ロジャースのクライエント中心療法
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
プリント		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

文章力

(取得単位数： 2単位)

教育目標 事実や意見を論理的に表現できる文章力を習得する。読む、聞く、考える、書く、話すことができる基礎能力をつける。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	30	大室 英幸	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	「論理的」を知ることの意味
2	「論理的」とは？
3	情緒から論理を学ぶ
4	なぜ論理が大切か
5	二人の主張をよく理解し、一方の異論が論理的に正しいかを論評する。
6	演繹的論理について、論理と集合
7	三段論法
8	逆・裏・対偶
9	ド・モルガンの法則
10	文章表現の論理について
11	整序問題を解いて文章の正しい展開を理解する。
12	職場における実践論理思考
13	問題解決・意思決定に活かすロジカルシンキング
14	意思決定に活かすロジカルシンキング
15	説得力を高めるロジカルシンキング
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
文章検 公式テキスト3級		メジカルビュー社
基礎から学べる！文章カステップ3級対応		メジカルビュー社

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

接遇・マナー教育

(取得単位数： 1単位)

教育目標 社会人としてマナーの基礎を学ぶ。また医療従事者としてコミュニケーションが重要であることを確認し、より良い人間関係を作るためのコミュニケーション能力と方法を身につける。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	45	石橋 宜子	実習	下記参照	実技試験 (30%) 終講時試験 (70%)

授業予定表

回数	講義内容
1	マナーとは何か、マナーの必要性
2	医療機関におけるマナー、あいさつの基本 (発声、表情、おじぎ)
3	敬語表現
4	サービスの受け手の立場でマナーを考える(体験発表)
5	コミュニケーションの基本(聴き方)、思いやりの動作
6	ビジネス文書①(文書の基本)
7	ビジネス文書②(社外文書)
8	コミュニケーションの基本(伝え方)
9	電話応対①(名乗り方)
10	電話応対②(取り次ぎと名指し人不在の応対)
11	ビジネスマナー①(名刺の扱い、来客応対)
12	ビジネスマナー②(ロールプレイ、訪問マナー)
13	仕事のマナー
14	まとめ(敬語の復習、質疑応答)
15	基本的対話スキル
16	
17	自己表現スキル
18	
19	社会的スキル
20	
21	サービスマインド
22	
23	実技試験
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
Hand-book of LIFE STYLE		滋慶教育科学研究所

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

キャリア教育

(取得単位数： 2単位)

教育目標 モチベーションプログラムとして臨床工学技士の実際を特別講話、病院見学を通じて学ぶ。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	2	60	合田 友輝 三上 真広	演習	下記参照	レポート

授業予定表

回数	講義内容
1.2	チームビルディング
3.4	チームビルディング
5.6	チームビルディング
7.8	チームビルディング
9.10	チームビルディング
11.12	ほくたけシミュレーションセンター
13.14	特別講話
15.16	特別講話
17.18	特別講話
19.20	特別講話
21.22	特別講話
23.24	レポートの書き方
25.26	病院見学
27.28	病院見学
29.30	まとめ

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
プリント		

備考

試験はレポートによるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

ICT演習

(取得単位数： 1単位)

教育目標 ICT教育を実施する上で必要なPC設定やリテラシーを学ぶ。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	山田 憲幸	講義	下記参照	出席および参加度

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	PC設定
3	Teams設定
4	電子教科書の使い方
5	OneNoteの使い方
6	ITリテラシー
7	サイバーセキュリティについて
8	まとめ

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
プリント		

備考

試験は参加度によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

社会福祉学

(取得単位数： 1単位)

教育目標 社会福祉の体系および医療人として必要な福祉関係の法律について教授する。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	伊藤宏二	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	社会福祉と基本的性格
3	生活問題の展開
4	社会福祉の基本的動向
5	社会保障制度と社会福祉制度
6	社会保険制度
7	社会福祉実践の共通基盤
8	医療・看護連携をめぐる課題
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
社会福祉 健康支援と社会保障制度 (3)	福田 素生、稲沢 公一、岡部 卓 駒村 康平、石渡 和実、新保 幸 男伊藤 正子、池本 美和子	医学書院

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。

英語

(取得単位数： 1単位)

教育目標 海外研修及び英語論文に必要な知識を身につける。

授業について

学年	単位数	時間	講師	講義内容	教科書	評価法
1	1	15	榎本卓史	講義	下記参照	終講時試験（筆記試験）

授業予定表

回数	講義内容
1	英語論文輪読(1)
2	英語論文輪読(2)
3	英語論文輪読(3)
4	英語論文輪読(4)
5	英語論文輪読(5)
6	英語論文輪読(6)
7	英語論文輪読(7)
8	英語論文輪読(8)
	終講時試験

教科書及び参考図書

書籍名	著者名	発行所
配布資料(プリント)		

備考

試験は筆記試験によるABCDFの5段階評価とし、F評価は単位不認定とする。
